

令和4年度 薬理学関連教科担当教員会議 全体会議 議事録

日時：2022年8月25日（木）13：30～16：30

会議形式：静岡県立大学薬学部とオンライン（Zoom）によるハイブリッド開催

議長：川畑 篤史 委員長（近畿大学）

出席者：別途記載

配布資料： [資料1] 2022年度 薬理学関連教科担当教員会議名簿

[資料2] 令和5・6年度 薬理学関連教科担当教員会議役員（案）

[資料3] 薬理学関連教科担当教員会議会則

[資料4] 第107回薬剤師国試問題検討委員会薬理部会 報告

[資料5] 薬学会薬理系薬学部会報告

[資料6] 2023年度 生体機能と創薬シンポジウム（徳島）

[資料7] 2023年度 薬理学関連教科担当教員会議

[資料8] 第96回薬理学会年会準備状況

[資料9] 第97回日本薬理学会年会ポスター

[資料10-1] 薬学会第143年会準備状況

[資料10-2] 薬学会第143年会（北海道）準備状況

[資料11] 薬学会144年会概要

[資料12] EBMと必須医薬品 笹栗俊之先生 教育講演要旨

13：30～13：50

委員長挨拶

今年度委員長・川畑 篤史（近畿大学）より、本会議開催の挨拶を行った。

新委員紹介 [資料1]

会議名簿 [資料1] を以て、新任委員12名を紹介した。現地参加されていた2名の新任委員（和歌山県立医科大学 新谷 紀人 先生、姫路獨協大学 関 貴弘 先生）に挨拶をお願いした。

次年度役員選出 [資料2]

次年度の役員構成について、[資料3] の会則に基づき、事前に行われた役員会で検討された案 [資料2] を掲示、全体会議で承認された。承認された来年度役員は下記の通り。

令和5年度（2023年度）

委員長 三澤 日出巳（慶応義塾大学）

副委員長（国公立） 檜井 栄一（岐阜薬科大学）

副委員長（私立） 徳富 直史（崇城大学）

参与（国公立）	津田 誠（九州大学）
参与（私立東日本）	堀江 俊治（城西国際大学）
参与（私立西日本）	加藤 伸一（京都薬科大学）
事務局	中原 努（北里大学）
事務局補佐	松尾 由理（北陸大学）

（敬称略）

薬理学関連教科担当教員会議会則 [資料3]

薬理学関連教科担当教員会議会則 [資料1] を以て、前年度より会則の変更はないことを伝えた。

13：50～14：20

第107回薬剤師国家試験問題検討委員会報告 [資料4]

薬理部会委員長 西奥 剛 先生（長崎国際大学）

薬理部会委員長 西奥 剛 先生（長崎国際大学）より、[資料4] に沿って説明・報告があり、今後の国会試験問題検討委員会についての説明があった。

14：20～14：30

日本薬学会薬理系薬学部会の活動について [資料5]

日本薬学会薬理系薬学部会部会長 香月 博志 先生（熊本大学）

日本薬学会薬理系薬学部会部会長 香月 博志 先生（熊本大学）より、[資料5] に沿って活動報告があった。

その中で、令和5年度の「生体機能と創薬シンポジウム」、「次世代を担う創薬・医療薬理シンポジウム」の開催予定が報告された。

14：30～14：40

次年度の生体機能と創薬シンポジウムについて [資料6]

2023年度実行委員長 藤野 裕道 先生（徳島大学）

実行委員長の藤野 裕道 先生（徳島大学）より、2023年度の生体機能と創薬シンポジウムについて、2023年8月24日～25日 徳島大学薬学部（蔵本キャンパス）にて開催される旨紹介があった。

14：40～14：50

次年度の薬理学関連教科担当教員会議について [資料7]

2023年度委員長 三澤 日出巳 先生（慶応義塾大学）

来年度委員長の三澤 日出巳 先生（慶応義塾大学）より、2023年度薬理学関連教科担当教員会議について、2023年8月24日開催（「生体機能と創薬シンポジウム2023」と合同）の旨案内があった。

14：50～15：00

今年度・次年度の薬理学会年会について [資料 8、9]

川畑 篤史 (近畿大学)

司会の川畑 篤史 (近畿大学) より、今年度の薬理学会年会 (第 96 回) について、2022 年 11 月 30 日 (水) ～12 月 3 日 (土) にパシフィコ横浜にて、第 43 回日本臨床薬理学会学術総会 (会長：聖マリアンナ医科大学 松本 直樹 先生) と合同で開催される旨紹介があった。会長は、安西 尚彦 先生 (千葉大学医学部)。

また、第 97 回については、2023 年 12 月 14 日 (木) ～16 日 (土) に神戸国際会議場・神戸国際展示場にて、第 44 回日本臨床薬理学会学術総会 (会長：大阪大学大学院薬学研究科 藤尾 滋 先生) と合同で開催される旨紹介があった。会長は、今井 由美子 先生 (国立医薬基盤・健康・栄養研究所)

15：00～15：10

今年度・次年度の薬学会年会について [資料 10、11]

南 雅文 先生 (北海道大学)、成田 年 先生 (星薬科大学)

第 143 年会長 南 雅文 先生 (北海道大学) より、本年度の学会 (日本薬学会第 143 年会) について、2023 年 3 月 25 日 (土) ～28 日 (火) 北海道大学で開催される旨、[資料 10-1、10-2] を以て紹介があった。

また、第 144 年会副組織委員長 成田 年 先生 (星薬科大学) より、来年度の学会 (日本薬学会第 144 年会) について、2024 年 3 月 28 日 (木) ～2024 年 3 月 31 日 (日) パシフィコ横浜で開催される旨、[資料 11] を以て紹介があった。

15：10～15：30

休憩

15：30～16：30

教育講演 [資料 10、12]

↳笹栗 俊之 先生 (九州大学名誉教授)

『EBM と必須医薬品』のテーマで 50 分講演していただき、その後、10 分間の質疑応答を行った。

以上

2022 年 9 月 1 日作成